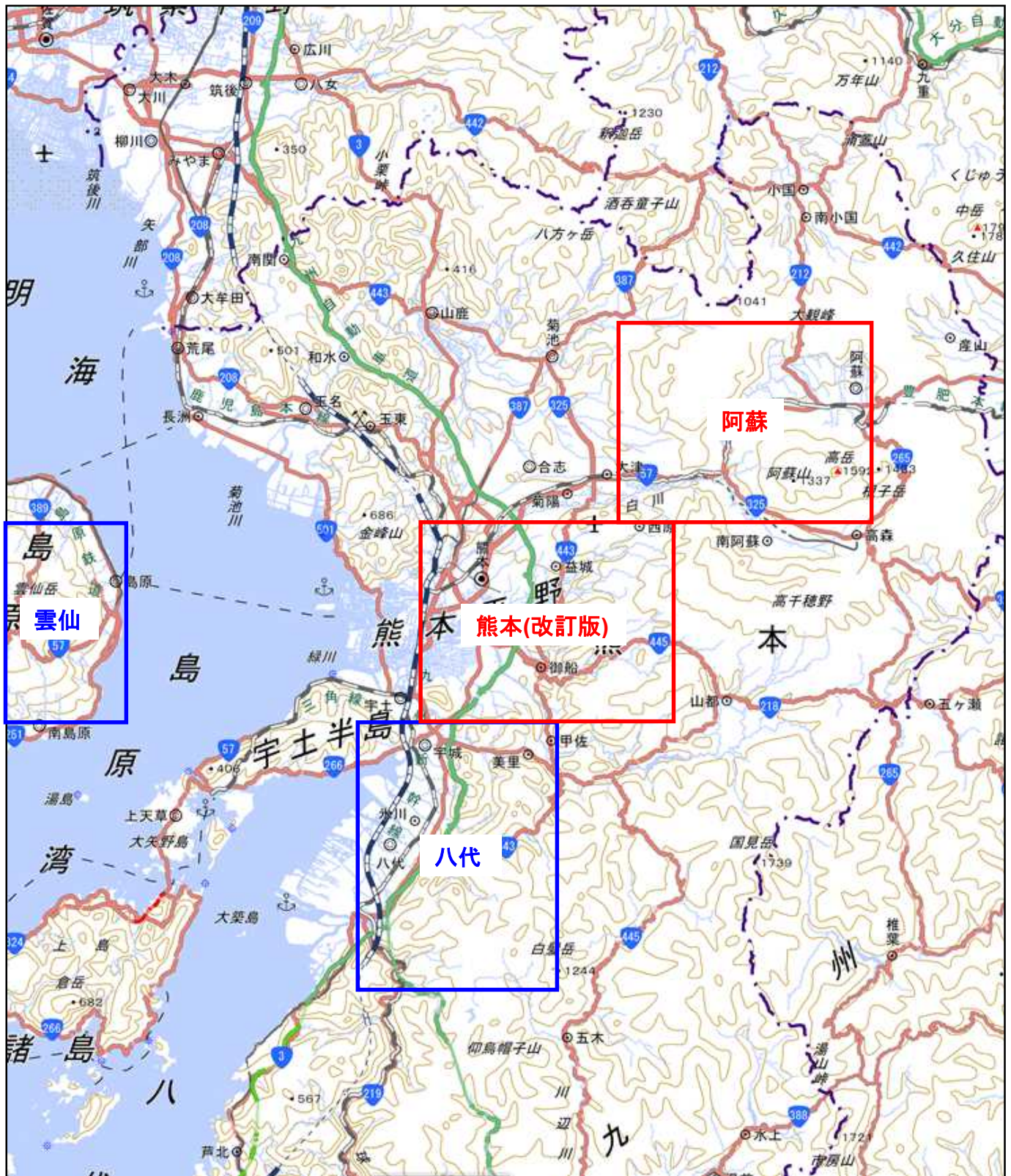


# 2万5千分1活断層図「阿蘇」について

## 2万5千分1活断層図「阿蘇」「熊本」位置図

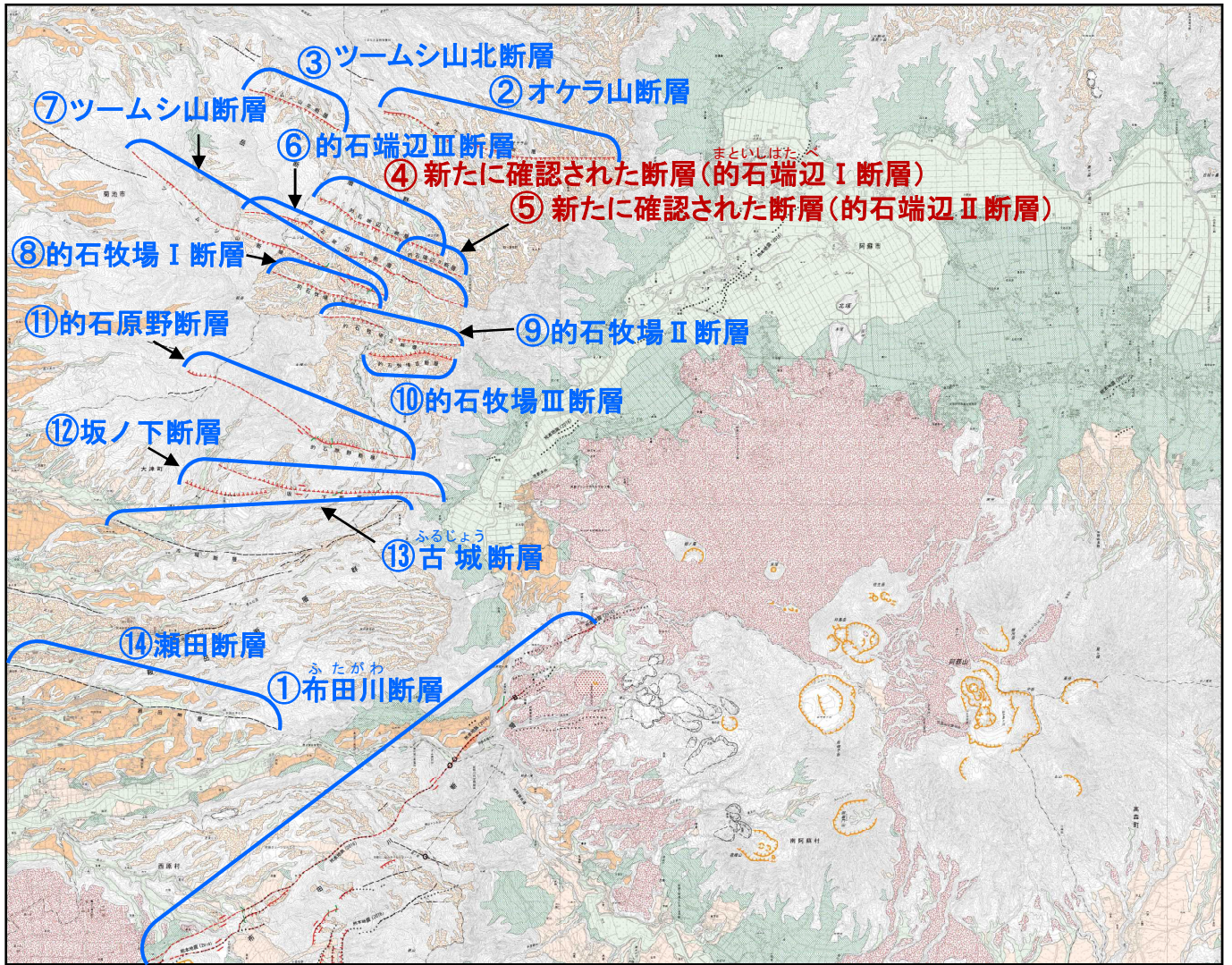


公開図葉



整備済図葉（「八代」については、更新作業中）

# 1. 2万5千分1活断層図「阿蘇」の概要



## 2. 今回の調査で得られたこと

「阿蘇」図葉には、<sup>ふたがわ</sup>布田川断層 10.4 km、オケラ山断層 4.5 km、ツームシ山北断層 1.9km、新たに確認された活断層（<sup>まといしはたべ</sup>的<sup>ま</sup>石<sup>い</sup>端<sup>し</sup>辺<sup>た</sup>Ⅰ断層）2.5 km、新たに確認された活断層（<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>端<sup>た</sup>Ⅱ断層）1.2 km、<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>端<sup>た</sup>Ⅲ断層 4.5 km、ツームシ山断層 5.5 km、<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>牧<sup>ま</sup>場<sup>ち</sup>Ⅰ断層 2.1 km、<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>牧<sup>ま</sup>場<sup>ち</sup>Ⅱ断層 2.7 km、<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>牧<sup>ま</sup>場<sup>ち</sup>Ⅲ断層 1.6km、<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>原<sup>ま</sup>野<sup>ち</sup>断層 4.6 km、坂ノ下断層 4.9 km、推定活断層の<sup>ふるじょう</sup>古城断層 5.7 km、瀬田断層 5.4km とその他の推定活断層を表示しています。

表示した活断層は、以下のとおりです。

	断層名	断層について	長さ
①	<sup>ふたがわ</sup> 布田川断層	南阿蘇村 <sup>かわよう</sup> 河陽の阿蘇ファームランド付近から西原村小森に延びる全体的に横ずれ*を主体とした断層です。これまで阿蘇外輪山西縁（白川左岸）までとされていましたが、 <u>熊本地震により、新たに外輪山の内側まで活断層が延びていることが地震断層とともに確認されました。</u> また、一部の区間に変位に伴う谷線の右屈曲が確認できます。	10.4 km
②	オケラ山断層	オケラ山断層は、阿蘇市のオケラ山南縁を東西に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれ*を伴う活断層です。	4.5 km
③	ツームシ山北断層	ツームシ山北断層は、阿蘇市と菊池市の境界付近にあるツームシ山北方に東南から西北に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。	1.9 km
④	<u>新たに確認された活断層（<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>端<sup>た</sup>Ⅰ断層）</u>	<u>阿蘇市端辺原野から菊池市の境界付近まで東南から西北に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。</u>	2.5 km
⑤	<u>新たに確認された活断層（<sup>ま</sup>的<sup>い</sup>石<sup>し</sup>端<sup>た</sup>Ⅱ断層）</u>	<u>阿蘇市的<sup>ぼくや</sup>石<sup>い</sup>端<sup>し</sup>辺<sup>ま</sup>牧<sup>ち</sup>野<sup>ま</sup>から西北に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。</u>	1.2 km
⑥	<sup>まといしはたべ</sup> 的 <sup>ま</sup> 石 <sup>い</sup> 端 <sup>し</sup> 辺 <sup>た</sup> Ⅲ断層	阿蘇市端辺原野からツームシ山の北側を経て菊池市まで東南から西北に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。一部の区間に熊本地震による地震断層が確認されました。	4.5 km
⑦	ツームシ山断層	阿蘇市からツームシ山の南側を経て菊池市まで東南から西北に延びる全体的に北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。一部の区間に変位に伴う谷線の右屈曲が確認できます。	5.5 km
⑧	<sup>まといし</sup> 的 <sup>ま</sup> 石 <sup>い</sup> 牧 <sup>し</sup> 場 <sup>ち</sup> Ⅰ断層	阿蘇市から <sup>おおづまち</sup> 大津町を経て菊池市まで東南から西北に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。	2.1 km
⑨	<sup>まといし</sup> 的 <sup>ま</sup> 石 <sup>い</sup> 牧 <sup>し</sup> 場 <sup>ち</sup> Ⅱ断層	阿蘇市的 <sup>おおづまち</sup> 石 <sup>い</sup> 原 <sup>ま</sup> 野 <sup>ち</sup> から大津町まで東西に延びる北側隆起（南落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。	2.7 km
⑩	<sup>まといし</sup> 的 <sup>ま</sup> 石 <sup>い</sup> 牧 <sup>し</sup> 場 <sup>ち</sup> Ⅲ断層	阿蘇市的 <sup>ま</sup> 石 <sup>い</sup> 原 <sup>ま</sup> 野 <sup>ち</sup> を東西に延びる南側隆起（北落ち）を主体とする縦ずれを伴う断層です。断層全体に活 <sup>とうきょく</sup> 撓 <sup>ま</sup> 曲 <sup>ち</sup> *を伴っています。	1.6 km

⑪	<small>まといし</small> 的 石原野断層	<small>くるまがえりぼくや</small> 阿蘇市車 帰 牧野から <small>や ごがわ</small> 大津町の矢護川を経て菊池市に延びる南側隆起（北落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。大津町の区間では変位に伴う谷線の右屈曲が確認できます。	4.6 km
⑫	坂ノ下断層	<small>まき</small> 阿蘇市坂ノ下から大津町真木に延びる全体的には南側隆起（北落ち）を主体とする縦ずれを伴う活断層です。一部の区間に熊本地震による地震断層が確認されました。	4.9 km
⑬	<small>ふるじょう</small> 古城断層	<small>くるまがえりぼくや</small> 阿蘇市車 帰 牧野付近から大津町古城を経て <small>まえぼら</small> 同町前原付近に延びる推定活断層です。	5.7 km
⑭	瀬田断層	大津町瀬田付近から同町高尾野に延びる推定活断層です。	5.4 km

注：断層の長さは本図に表示されている範囲です。

「※」は、参考資料 2 の「7. 用語の説明」を参照